

陸上競技(短距離)プログラム報告 2011 年 11 月 26 日(土) 中村泰雄

日付: 2011 年 11 月 26 日 (土曜日)

分類: [手記](#)



先週の土曜日(19日)の早朝、毎朝続けているウオーキングのついでに櫨の木の紅葉をチェックしてきました。今日のウオーキングの目標として前からマークしていたのです。

未だ一寸でしたが一週間後には十分鑑賞に堪えると踏みました。家に帰ってから御馴染みの配布プリントを刷り上げました。

プリントには去年の晩秋にジョギングコースの千五百メートル表示付近で撮った真っ赤な櫨の紅葉の画像を貼り付け、雌雄異株であることや江戸時代に西日本の諸藩で木蠟をとる目的で盛んに栽培されたこと、江戸時代中期以前には飢饉に備える作物としても利用されていたことなどを書きました。アスリート諸君がこんなことに興味を示してくれるかどうか不安もありましたが、其処は派手な櫨の木の紅葉が救ってくれることを期待して。

さてそのウオーキングですが、例によって私はウオーキングの集団のスタートを待ってジョギングコースを逆行し、当の櫨の木の直ぐ横のスケートリンク入り口にあるベンチに座って一行を待ちました。

待つこと十分。先頭のK君のお母さんが見えてきました。一緒に来るのはKY君です。お母さんは直ぐ私を見つけて此方を指差しました。でも如何したことかKY君は櫨の木の横を通過してしまいました。慌てて呼び止める私。彼は五メートル先から戻って来ました。

3分後、勢揃いした集団に実を付けたハゼノキを示して

『実がなっているんだからこの樹はメスの樹に違いないけど、オスの樹はどこに有るんだろう。公園の中では見かけないけど』

などとペチャクチャ。五分後に再スタートしてもらいました。

ウオーキングの後は二千を走り、その後長短両グループ合同で冒険広場に移動し、参加アスリートを3チームに分けて、駅伝の襷の受け渡しの練習を兼ねて、冒険広場を周回するリレーを3レース走り、十一時三十分、芝生広場の西端に戻って体操。今日のプログラムを無事に終了しました。

中 村 泰 雄

注: 一部人名をイニシャルに変換して掲載しております。